

新入生保護者代表 挨拶

満開の桜のもと、6年間の小学校生活を終え、一回りも二回りも大きくなった子供達は、今日まさに、中学校生活という新しい世界に飛び込もうとしています。

新入生の皆さんは、今、とても緊張して居心地が悪く不安そうですが、安心してください。実は、私も、君達以上に緊張しています。今は、居心地が悪くても、3年後に君達が巣立つときは、恐らく、楽しい思い出が沢山つまった居心地の良い三中から離れたくなくて、また、先生や友人と別れるの辛く、泣きながら、あるいは必死に涙をこらえて、卒業式に臨む人が多くいると思います。

私は、新入生の保護者という立場だけではなく、この春に3中を卒業した一人の卒業生の親として、また、開かれた学校づくり協議会の一委員として、3中とは何年も関わってきました。今ここにいる在校生の皆さんの中には、私のことを、3小のジャンボリーの“ダメ”リーダー、“さぼりリーダー”として知っている人もいます。

これまでに各地を転々としてきた経験から、様々な地域や学校を見てきましたが、公立中学としての3中、そして3中を取り巻く地域の環境は、実に素晴らしいものがあります。

とくに、3中を支える先生方の情熱や献身的な姿勢には、いつも頭が下がる思いです。

これまで、両親や家族から愛情を注がれ成長し、小学校や地域の人たちに暖かく支えられて育ってきた新一年生、これからは、立派な伝統と素晴らしい教育環境を誇る3中で、「責任ある自由」という意味がわかる“大人”になるべく、大いに成長してくれると私は期待しております。

今は、期待と不安が入り混じってかなり緊張しているようですが、3中での生活を通じて、一生の思い出となる「青春の重要な1ページ」を刻むことになるでしょう。

無限の可能性を秘めている中学生は、勉強も大切ですが、“くぬぎ祭”や“クラブ活動”、“運動会”などの課外活動にも大いに頑張って「キラキラ輝いた中学校生活」を過ごして欲しいものです。

一生の友となるような「良き友」を得ること、人生に大きな影響を及ぼす「良き師」とめぐり合えること、切に願っています。

本日、新入生をあたたかく迎えて下さった先生方には、今後、勉強や様々な課外活動だけでなく、色々な精神葛藤やトラブルにも、お付き合いいただくことになると思います。

教職員の皆様、ここにいる新入生が充実した中学校生活を過ごせるよう、厳しく、時には優しいご指導を賜りますよう、保護者一同、宜しく願い申し上げます。

平成21年4月7日

新入生保護者代表 岡部 徹

(平成20年度 武蔵野市立第三中学校卒業式 保護者代表挨拶 原案)

以下は、代案。時間が無い場合の定型挨拶。

新入生保護者代表 挨拶

つい先ごろ、小学校最高学年としての 1 年を終え、堂々と卒業式を行った子供達が、今日は中学校の上級生の前でかわいらしく見えます。

地域の中で、家族や様々な人たちに見守られここまで成長した新一年生。今日は期待と不安が入り混じって少し緊張しているようですが、本日、そんな彼らをあたたかく迎えて下さった先生方には、今後、学習面に関わる事柄をはじめ、中学生活に伴う色々な精神葛藤にも、お付き合いいただくことになると思います。教職員の皆様、ここにいる新入生が立派な三中生となれるよう、時には厳しく、時には優しいご指導を賜りますよう、保護者一同、宜しく願い申し上げます。

平成 21 年 4 月 7 日

新入生保護者代表 岡部 徹